

## 7. 履修について

### ① キャップ制について

キャップ制とは、1年間の履修登録単位数に上限を設ける制度です。では、なぜ履修登録単位数に上限を設けて制限する必要があるのでしょうか。

その主な目的は、各科目の予習・復習を無理なく行えるようにし、単位制度本来の趣旨に添った学習時間を確保することです。

履修単位数の上限をどのように定めるかの詳細については、各大学がそれぞれの状況を踏まえて自主的に判断することとされており、本学では全学的に1年間で49単位以下(理学部では教職に関する科目はキャップ制の対象としない)として設定しています。

履修登録をする際は、前期・後期のバランスを考えて登録をしてください。前期に多くの科目を履修しすぎると、後期に履修したい科目が登録できなくなるので注意してください。

### ② 履修方法

理学部カリキュラムに基づき、卒業に必要な単位を配当年次にしたい履修します。

理学部は楔形により教養と専門との相互乗り入れと、学科間の横のつながりを強化した教育体系を取り入れ、次のとおり履修基準(=進級要件)を定めています。

### 【科目群・科目系の履修基準】

科目群	必・選	科目系	履修基準
1群科目	必修	基礎教育科目	配当年次に必修
		外国語系「英語」	
	選択	人間形成の基礎科目	配当年次に応じ、各学科の定める基準単位を履修 ・1年次に進級要件の単位数以上を修得した場合は2年次の進級要件単位数から減らすことができる
		総合領域科目	
基礎教育科目			
		教養演習系科目	
2群科目	必修		配当年次に必修
3群科目	必修		配当年次に必修
2群科目 3群科目	選択		各学科の定める進級要件に基づき、原則として配当年次に履修 ・下級年次に履修基準の単位数以上を修得した場合は上級年次の進級要件単位数から減らすことができる
3群科目	自由*	知的財産論	2・3年次対象
		海外短期留学プログラム	1年次～4年次対象
4群科目	自由*	他学部の開講科目	1年次後期～4年次対象
		単位互換科目	1年次後期～4年次対象
		共同授業科目	指定なし
		総合的な能力を形成する科目	1年次～4年次対象

\*自由科目は卒業要件単位には含まない

## 【物理学科の進級・卒業要件単位数】

### 2022～2020 年度入学生対象

科目群	必・選	科目系	1年	2年	3年	4年	計
1 群科目	必修	基礎教育科目	4				4 単位
		外国語系「英語」					
	選択 ※① ※②	人間形成の基礎科目	8	4			12 単位
		総合領域科目					
		基礎教育科目					
		教養演習系科目					
2 群科目	必修		9	3	2		14 単位
3 群科目	必修		19	18	8	14	59 単位
2 群科目 3 群科目	選択			10	25		35 単位
計			40 単位	35 単位	35 単位	14 単位	124 単位

1 群選択科目の履修について（3 学科共通）

- ※① 1 群選択科目の卒業要件単位となる 12 単位のうち、人間形成の基礎科目及び総合領域科目の中から、4 単位以上を修得しなければならない。
- ※② 1 群選択科目のうち、総合領域科目の「北里の世界」、「仕事と人生」及び「農医連携論」については、学部の履修推奨科目とする。

### 2019 年度入学生対象

科目群	必・選	科目系	1年	2年	3年	4年	計
1 群科目	必修	基礎教育科目	4				4 単位
		外国語系「英語」					
	選択 ※① ※②	人間形成の基礎科目	8	4			12 単位
		総合領域科目					
		基礎教育科目					
		教養演習系科目					
2 群科目	必修		9	3	2		14 単位
3 群科目	必修		17	18	9	14	58 単位
2 群科目 3 群科目	選択			10	26		36 単位
計			38 単位	35 単位	37 単位	14 単位	124 単位

1 群選択科目の履修について（3 学科共通）

- ※① 1 群選択科目の卒業要件単位となる 12 単位のうち、人間形成の基礎科目及び総合領域科目の中から、4 単位以上を修得しなければならない。
- ※② 1 群選択科目のうち、総合領域科目の「北里の世界」、「仕事と人生」及び「農医連携論」については、学部の履修推奨科目とする。

## 【化学科の進級・卒業要件単位数】

2022～2019 年度入学生対象

科目群	必・選	科目系	1年	2年	3年	4年	計
1 群科目	必修	基礎教育科目	4				4 単位
		外国語系「英語」					
	選択 ※① ※②	人間形成の基礎科目	8	4			12 単位
		総合領域科目					
		基礎教育科目					
		教養演習系科目					
2 群科目	必修		14	2	2		18 単位
3 群科目	必修		15	20	19	14	68 単位
2 群科目 3 群科目	選択			8	14		22 単位
計			41 単位	34 単位	35 単位	14 単位	124 単位

1 群選択科目の履修について（3 学科共通）

- ※① 1 群選択科目の卒業要件単位となる 12 単位のうち、人間形成の基礎科目及び総合領域科目の中から、4 単位以上を修得しなければならない。
- ※② 1 群選択科目のうち、総合領域科目の「北里の世界」、「仕事と人生」及び「農医連携論」については、学部の履修推奨科目とする。

## 【生物科学科の進級・卒業要件単位数】

2022～2019 年度入学生対象

科目群	必・選	科目系	1年	2年	3年	4年	計
1 群科目	必修	基礎教育科目	4				4 単位
		外国語系「英語」					
	選択 ※① ※②	人間形成の基礎科目	8	4			12 単位
		総合領域科目					
		基礎教育科目					
		教養演習系科目					
2 群科目	必修		14	2			16 単位
3 群科目	必修		8	20	24	14	66 単位
2 群科目 3 群科目	選択			12	14		26 単位
計			34 単位	38 単位	38 単位	14 単位	124 単位

1 群選択科目の履修について（3 学科共通）

- ※① 1 群選択科目の卒業要件単位となる 12 単位のうち、人間形成の基礎科目及び総合領域科目の中から、4 単位以上を修得しなければならない。
- ※② 1 群選択科目のうち、総合領域科目の「北里の世界」、「仕事と人生」及び「農医連携論」については、学部の履修推奨科目とする。

- ③再履修について・・・配当年次に不可となった科目の再履修等に関する基準は、次のとおりとする。
- 必修科目については、不可となった当該科目を再履修とし、選択科目については、不可となった科目の単位に相応する科目を選択履修する。
  - 再履修科目の時限は理学部授業時間割の該当科目開講時限とする。
  - 再履修科目と、在学年次配当必修科目の授業時限が重複する場合は、在学年次配当の必修科目の履修を優先し、再履修科目は別途履修する。  
別途履修する再履修科目の実施方法については、単位認定者が決定する。
  - 選択科目の履修は、理学部授業時間割の開講科目のうち、在学年次配当必修科目及び再履修科目の授業時限と重複しない科目とする。

#### ④履修登録の手続

履修登録は、本年度履修する授業科目を登録するための大切な手続きなので、学修要項（シラバス）を熟読し、履修すべき授業科目及び単位数等を確認し教学ポータルから登録すること。（履修上限単位：前後期合わせて 49 単位以下とする。P.31①キャップ制参照）

登録期間：【前・後期科目及び通年科目】4月中旬 【後期科目】9月上旬

※詳細な日程は掲示により通知。

- 登録する科目・・・在学年次（又は下級年次）に配当されている選択科目

（上級年次の科目・入学時のカリキュラムに配当されていない科目は履修不可。）

- 登録しなくてよい科目・・・必修科目、再履修科目、教職関連科目

#### ⑤履修登録の確認及び変更

正しく履修登録がなされているか「教学ポータル」で確認すること。

なお、登録した内容に誤りがあった場合や履修を変更する場合は、必ず期間内に変更の手続きをすること。変更の手続きをした者は、後日、改めて教学ポータルを確認すること。

変更期間：【前・後期科目及び通年科目】4月下旬 【後期科目】9月中旬

※詳細な日程はメール等で通知。

#### ⑥上級年次配当科目の一部履修について

留年した者で、単位修得状況も含め、教育上望ましいと認められる場合に限り、在学年次より1年次上の選択科目の一部の履修を許可することがある。

履修単位は、前後期あわせて 5 科目 10 単位を上限とし、年間の履修登録上限単位 49 単位以下とする。

履修を希望する者は、チューターと相談の上、事務室教務課で手続用紙を受け取ること。

ただし、それらの履修科目については配当年次の学生を優先するため、補講等実施の際には、上級年次科目履修者に時間割上の配慮ができない場合もあるので、その点について理解をした上で、履修の手続をすること。

なお、当該補講等の欠席に対する対応については、事務室教務課に相談すること。

#### ⑦既修得単位の認定

北里大学学則第 23 条に基づき、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、教育上有益と認めるときは、理学部において修得した単位として認定することができる。

【理学部における既修得単位の認定に関する申合せ】

1. 対象者

大学又は短期大学を卒業若しくは中途退学し、新たに北里大学理学部の第1学年次に入學した学生とする。

2. 認定できる科目の範囲

認定できる科目の範囲は、原則として理学1群科目とする。

3. 認定できる単位数

認定できる単位数は60単位を限度とし、選択科目にあつては、各区分の卒業要件単位数内とする。

4. 認定の手続きは、次の手順により行う。

(1) 入学予定者にあらかじめ周知するとともに、第1学年のオリエンテーション時に概略を説明する。

(2) 認定を希望する者は、次の書類を所定の期日までに理学部事務室に提出する。

- ・ 既修得単位認定申請書
- ・ 卒業若しくは中途退学した大学又は短期大学の学業成績証明書
- ・ 本大学に入學する前に大学又は短期大学において修得した授業科目のシラバス

(3) 提出された申請書に基づき、教育委員会において単位認定を検討する科目を決定し、一般教育部に「既修得単位内容確認申込書」を提出する。

(4) 一般教育部の審査結果に基づき、運営委員会の議を経て教授会において最終認定を行う。

(5) 認定した科目については、一般教育部に報告するとともに、学生に「既修得単位認定書」を発行する。

5. 既修得単位認定に係る成績証明書への表記方法

既修得単位として認定した科目は、評価欄に「認定」と表記する。

附則

1 本申合せの改廃は教育委員会で協議し、運営委員会の議を経て教授会の承認を得る。

2 本申合せは平成14年度入學生から適用する。

附則

本申合せは平成27年度入學生から適用する。